

緑竹栽培

パソコン
図書の活用策

総務・経済建設両委員会は、9月26日、学校調査（パソコン教育の活用策及び学校図書の活用策）と特産品としての緑竹栽培調査を実施し、委員長報告がありましたので、その概要を報告します。

指導体制の充実を



パソコン室を調査中の各委員

中学校については、パソコン活用策、図書活用策についての説明が不十分であり、今後、資料作成にあつては検討する必要があると思われる。

指導体制、その成果、課題等がわかりにくいので、計画的な指導体制の強化を図るべきである。また、図書

活用策に取り組んでいかれるよう要望するとともに、パソコン授業には一人一台の整備が必要であるとの要望があり、教育委員

会でも検討されるべきである。図書の活用策については、各小学校のパソコン指導体制についても、意欲的に取り組んでいるので、今後もさらにパソコン活用策に取り組んでいかれるよう要望する。また、各学校の朝読みの継続、紫尾小のあすなろ親子読書会等の継続を図り、図書の活用をさらに充実されるよう要望する。



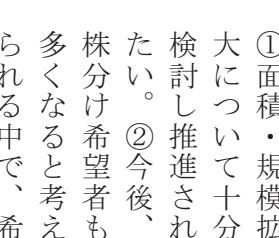
緑竹を調査中の各委員

本町では平成14年に植付けされ、定植失敗など技術的な面である。これは、原産地が台湾で寒さに弱いため、寒さ対策とイノシシ、鹿等の食害が原因と思われる。現在は、研修等を経て寒さ対策、電柵の

設置で効果が上がっているが、出荷はまだされていない。主に株分け用である。また、先進地の日吉町の栽培状況は、

50a植付けされ、定植失敗など技術的な面である。これは、原産地が台湾で寒さに弱いため、寒さ対策とイノシシ、鹿等の食害が原因と思われる。現在は、研修等を経て寒さ対策、電柵の

栽培技術体系の確立を



①面積・規模拡大について十分検討し推進されたい。②今後、株分け希望者も多くなると考えられる中で、希望者を把握し助成等も検討されたい。③先進地研修等を通して、確実な栽培技術体系を推進されたい。④将来において販路までの対策も十分検討されたい。

平成15年10月
発行責任者 東 哲雄
編集委員長 宮之脇金次郎
副委員長 四位芳彦
編集委員 高嶺実樹雄
編集委員 川口憲男
編集委員 下大迫幸太郎
編集委員 中尾正男

後編
記集

の購入も早急に行い、利用状況である。

会でも検討されるべきである。

図書の活用策については、各小学校の司書補の研修の必要性のほか、鶴田小学校の書棚の配置換えの要望がなされているので、配置

して

今年は、冷夏といわれた中で稻の収穫が気になるところです。

9月定例会では、罰則付きの空き缶ポイ捨て等を禁止する環境美化条例の制定や、14年度一般会計等の決算審査が審議されました。

国会においては衆議院が解散し、来月9日投票となりました。今後の政局の動向、小泉改革路線の行方等々で地方への財政面等の影響度はどうなるかなど、注視する必要があります。

ここに議会だよりをお届けします。ご意見等ありましたら議会事務局までお寄せください。